



大阪部会(第4回)

日時: 2007年11月10日(土)17:30~19:30

場所: 阪急ターミナルスクエア 17

【内容要旨】

(1) 第4回目の部会は17名の参加者で開催された。まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一理事長から、今後熊本・広島・大阪・岩手で開催予定のワークショップについての報告があった。大阪の開催日は2008年1月13日(日)に決まったが、会場や時間などについては、後日決まり次第メール等で連絡することになった。

次に、森哲仁氏(大阪府教育センター)から、文部科学省に申請された「わかる授業実現のための教員の教科指導力向上プログラム」についての企画提案書の説明があった。事業計画の内容は、いままで実施してきた大阪部会や大阪府立三島高等学校での「特別授業:経済入門」、および、大阪府教育センター主催による教員研修などの実績を踏まえて、今後も教材開発や専門家と教員との連携授業、研修会の企画を進めていくうえで必要な事業費の補助申請である。

(2) 続いて、HP「経済教育ネットワーク」の「経済Q&A」欄で、中学生や高校生の質問に対してわかりやすい解説をする方法についての意見交換があった。例として、「消費税率が引き上げられたとき、需要・供給にどのような影響を及ぼすのか、需要曲線や供給曲線を使った教え方」についての質問が取り上げられた。正確な説明をしようとするれば、需要曲線や供給曲線の意味を理解する必要があるが、反面解説が長くなってしまふ。逆に、直感的に教えようとするれば、需要曲線や供給曲線をシフトさせるだけの表面的な説明に終わってしまう。このようなジレンマに対してどうすればよいかという議論がおこなわれた。その過程で、斉木英範氏(大阪府立北千里高等学校)が配布された資料のなかに授業で使われたワークシートについての説明があった。そして、このようなワークシートをつくり欄外に専門家の意見をコメントとして挿入する方法が提案された。そこで、次回のワークショップでは河原和之氏(東大阪市教育センター)にサンプルをつくってもらい、それを参考にしているいろいろなテーマについてのワークシートを作成してみることにした。

(文責:西村理)